

一 般 質 問 通 告 書

令和7年8月22日

前

午後0時11分受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年8月22日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 土屋 和幸 (印)
(署名又は記名押印)



質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市の農業について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の農業について
質 問 の 要 旨	
(質問をしようとする背景や経緯) 天候の不順状況が続き、米価・野菜等の値上がりによりかつて無いほどに農業に関心が国民の間に広まっています。そのことから湖西市における農業の現状と将来に向けて市の方向性をお伺いいたします。 (目的) 湖西市の農業の振興についてお伺いします。 (質問事項) 1 市の農業生産高について5年前との比較で米・キャベツ・みかん・馬鈴薯・セルリ・さとうエンドウ・花き・豚について推測でいいので教えてください。その結果についてどのように市は評価しますか。 2 地産地消についてどのように考えていますか。 3 また、農業振興の前提として、農業従事者は、後継者不足と言われていますが、その実態はどうですか。 4 農業法人は市内の数・市外から参入している数は如何ですか。 5 農業法人の積極的な参入や農業の生産性の向上のためのスマート農業の推進にあっては、その前提となる基盤整備の実施が重要と考えています。吉美の基盤整備の進捗状況はどうですか。他の地区でも今後基盤整備事業を行う予定はありますか。 6 農業は単なる営利追及の産業ではなく、多面的機能（農業が果たす水の制御、国土保全、良好な景観形成等農産物生産以外機能）の維持のため重要な産業と考えています。この点、湖西市では多面的機能の維持を目的として湖西農業資源保全団体（KARCOーカルコ）が湖西用水土地改良区を中心に本年度から発足しましたが、その趣旨と概要を伺います。 7 湖西の農業や農地を守る農家のために所得補償を考えていただきたいのですが、いかがでしょうか。	

一 般 質 問 通 告 書

令和7年8月22日

前

午後0時25分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年8月22日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 寺 田 悟

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☐ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	震災発生時の観光客等への避難誘導並びに命山、避難タワー及び避難所における防暑防寒対策と備蓄品管理について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	震災発生時の観光客等への避難誘導並びに命山、避難タワー及び避難所における防暑防寒対策と備蓄品管理について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 本年7月30日朝、ロシア・カムチャツカ半島沖合を震源とするマグネチュード8.8の巨大地震が発生し、気象庁が津波警報を発令しました。太平洋に面している本市においても、新居地域センターや白須賀中学校などの避難所に多数の方々が自主避難をしました。 新聞記事には、新居地域センターへ避難した男性への取材で「まずは命山に逃げたが暑いのでこちらに来た」とのコメントが掲載されていました。 以前から命山や避難タワー、公共施設等の屋上には屋根が無いため日陰になる場所が少なく、夏の炎天下や冬の極寒、豪雨などの暴風雨に対する対策が取られていないことが問題視されていました。 今回は海外で発生した地震の為、津波到達までに時間を要したので避難場所の移動が出来ましたが、南海トラフ巨大地震発生の場合は、津波到達までの時間が短く避難場所を選んでいる暇はありません。 新居町内には造成された3つの命山と4つの避難タワーがあります。 新居弁天の命山「今切の丘」を見ますと、ソーラー式照明灯が階段に1基と頂上に1基の2基があるのみで、日除けのパーゴラや座るベンチもありません。階段は海釣り公園側にはありますが、太平洋側にはありません。 南海トラフ巨大地震レベル2が発生して津波に襲われ、命山や避難タワーへ一時避難した場合、救助までに数日かかることは容易に想像できますが、そこで耐え凌ぐことが出来るのか大変不安です。 市長は、昨年12月定例会における所信表明で述べた4つの柱の内の1番目「命を守る」の中で 「政治は命を守ること」 「先ず取り組むべきことは地震・津波対策」 「実態に即した避難訓練の実施や福祉避難所の設置運営、安否確認システムの構築、避難所へのエアコン設置等に取り組む」 等と発言しました。	

今回の避難は訓練ではなく実践でした。この実践を通じて明らかになった課題と今後の対策についてお伺いします。

(質問の目的)

湖西市の地震・津波対策における防暑防寒対応の現状を明らかにし、環境改善の早期実現を図り市民の命を守ることを目的とする。

(質問事項)

- 1 ロシア・カムチャツカ半島沖地震発生による津波避難において、明らかになった課題と今後の対策について伺う。
- 2 観光客やレジャー客、車両で通過移動中の人などに対する避難誘導について伺う。
- 3 命山や避難タワーの防暑防寒対策について伺う。
- 4 救助までに必要な備蓄品保管量及び管理体制について伺う。
- 5 白須賀地区沿岸に命山又は避難タワーの建設計画が有るか伺う。
- 6 避難所または避難場所に指定される小中学校体育館などの空調整備の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

以 上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 8 月 22 日

前

午後 0 時 56 分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 8 月 22 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 福永桂子

(署名又は記名押印)



質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市北部地域の活性化に向けて	
2	草刈り担い手不足と生活環境の悪化対策について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市北部地域の活性化に向けて
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 平成 29 年度、湖西市大知波自治会は湖西市北部地域の活性化に向けたまちづくり提案を、議会報告会にて発表しましたが、その後、市の具体的施策や継続的な協議には結びつきませんでした。今年、知波田地区自治会連合会から、まだ地域住民の声を十分に反映していない段階ではありますが、北部地域まちづくり素案についてお伝えしています。 今後は湖西市北部そして湖西全域を衰退させないためにも、市政が市民からの提案を基にした具体的なアクションを起こせることが大切になっていくと考えます。 現在、北部地域は土地の利活用問題、農業の衰退による地域経済の低下、若い世代の市街地への移住、高齢化の進行と独居高齢者支援の拡大、買い物・交通難民化、小学校廃止への不安、空き家の増加による治安の低下、鳥獣被害の拡大など、人口減少と高齢化に伴う過疎化が進み、生活基盤の維持が難しくなっています。これらは、地域だけでは解決が困難であり、市と地域が協働で将来像を描く必要があります。市が掲げる「コンパクトシティ」構想を含め、市全域が豊かに暮らせるまちづくりのために、具体的な取り組みが求められます。 (質問の目的) 住民からは地域の活性化を求める声が上がっています。市長や関係部局が積極的に関わって、現実的かつ実行可能な方向性を共に考える時期にきています。 (質問事項) 1. 湖西市北部地域の現状をどのように認識し、そのような状況に至った要因をどう分析しているのか伺います。 2. 北部地域の人口動態や高齢化率、空き家率、農業従事者数などのデータをどのように把握していますか。	

3. 空き家の増加による治安の低下、農地の荒廃、買い物や交通の利便性低下について、市はどのように把握していますか。

4. 北部地域の現状と要因分析を踏まえて、現在のコンパクトシティ構想の中で、この地域をどのように位置付けているのか伺います。

5. いつまでに、どのような形で北部地域まちづくりの方向性を示すお考えか、併せて優先課題をどのように捉えているのか伺います。

6. H29年度の北部地域活性化提案の内容について、見解を伺います。

7. 北部地域の活性化と課題解決に向け、自治会が開催計画している「湖西市北部の将来を考える会」への関わり方と協力体制について、市長の考えを伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	草刈り担い手不足と生活環境の悪化対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市では地域の高齢化の進行もあり、道路沿いや河川周辺、住宅地周辺などでの草刈り作業の担い手が不足しています。さらに近年の猛暑により草木の成長が早まり、草刈りの回数を増やす必要性が高まっています。加えて、空き家や空き地の増加にともない、隣接地からの雑草や樹木の越境被害も増えています。しかし現状では、市は「民有地のため所有者に通知する」対応が中心で、実効的な解決が進んでいません。放置された草木は、景観の悪化だけでなく、視界不良や通行障害による事故、野生動物の侵入やマダニなどによる感染症リスクを招きます。また、市が管理する公園への進入路が、樹木で塞がれ大型車両が通行できなくなる事例もあり、事前巡回や予防的管理が不十分であると感じられます。 湖西市「あき地の環境保全に関する条例」第3条では、所有者等に草木管理の責務を課していますが、この条例の実効性を高めるためには、体制整備や支援策の見直しが必要ではないでしょうか。千葉縣市原市では、指定業者一覧を整備、公開し、相談窓口で紹介する仕組みがあります。また浜松市では、河川の環境を守るため、草刈機の無償貸し出しの実証実験も行われています。湖西市でもこうした取り組みを参考に、市民の快適で安全な生活環境を守る仕組みづくりを進めるべきだと考えます。 (質問の目的) 湖西市内における草刈り、樹木管理の担い手不足と放置による生活環境悪化について、市の現状認識を確認するとともに、新たな対応策の導入を求めます。 (質問事項)	

1. 湖西市は、市内の雑草・樹木管理の担い手不足や、生活環境への影響について、市はどのように現状と課題を認識しているかお聞かせください。

2. 湖西市「あき地の環境保全に関する条例」第3条に定める所有者等の責務について、どのように周知を進め、実効性を高める取り組みを行っているのか伺います。

3. 草刈り業者一覧を整備し公開して、相談窓口で紹介する「あっせんサポート」を湖西市でも導入することはできるか伺います。

4. 浜松市などの事例を参考に、草刈機や関連機材の貸出制度を創設する考えはあるか、市の見解を伺います。

5. 市が管理する公園や道路沿いで通行障害を防ぐため、事前巡回や定期点検、予防的管理体制をどのように強化していくのか、市の考えをお聞かせください。

6. 猛暑など気象条件による草木の成長変化を踏まえ、草刈りや樹木管理の回数や時期の見直しを検討しているか伺います。

7. 空き家や空き地の管理不全による草木の生い茂りについて、市はどのように考えているか伺います。

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 8 月 22 日

前

午後 1 時 02 分 受付

後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2025 年 8 月 22 日



湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 竹内 祐子 印

質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	新庁舎の建設候補地について	
2	まちあるき観光案内所の実証実験について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新庁舎の建設候補地について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 3月定例会の市長施政方針で市役所新庁舎については、基本構想の策定やワークショップなどの準備を重ねてきていたが、市役所は市民生活に大きく関わる施設であり場所の選定は慎重に行う必要がある。 施設の利便性、まちづくりの拠点、賑わいの創出といった観点を考慮する中で鷺津駅周辺を候補地の一つに追加し検討したい。 基本計画の策定を1年ほど延長し、令和7年度中に建設場所の最終決定を行いたいとのべられた。 そのことについて6月定例会で「市役所の移転問題」という一般質問が出された。市役所庁舎の建て替えについては、市民生活への影響があり市民の関心が非常に高い内容である。 (質問の目的) 6月議会での答弁で「夏までに市としての方向を示す」との答弁があったが、改めて市役所庁舎の建設候補地を確認したい。 (質問事項) 1. 具体的な建設候補地の方向性を決定したのか。 2. 選定においてどのような項目を比較し、どのような理由で決定したのか。 3. 建設候補地の決定を受け、基本計画の策定はどうなるのか。 4. 基本計画策定後のスケジュールはどう考えているのか。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	まちあるき観光案内所の実証実験について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 令和7年3月議会の市長施政方針で「旅行者へ市内の観光スポットをアピールするため観光案内所の設置を行い、旅行者の受け入れ体制を構築する」との言及があった。 観光案内所の設置にあたり、来年度以降の事業化に向けて、本年度はあくまでも実証実験と位置づけ、300万円の予算で調査研究をする。事業の実施については、両商工会へ事業を委託し、観光案内所を湖西地域、新居地域にそれぞれ1か所ずつ設置する予定と伺っている。 そうした取組を行う中、湖西市観光基本計画に掲げる重点戦略等の実現にあたっては、関係者の役割分担により観光事業を推進することとされている。特に、令和4年度に設立された湖西・新居観光協会は重要な役割を担うことを期待されている。 今後も本市の観光プロモーションをより推進するためには、観光情報の一元化、事業の継続性、関係団体との連携強化、また長期的な視点に立って観光事業を展開することが求められていると理解している。	
(質問の目的) 観光プロモーションの手段の一つである、観光案内所における湖西・新居観光協会の位置づけと、市の考えを確認したい。	
(質問事項) 1. 観光案内所を2か所にする理由とその設置場所、実施内容は。 2. 実証実験の委託先の選定理由は。 3. 実証実験の結果をいつまでに、どのように評価するのか。評価結果による、来年度以降の予算への反映をどのように考えているのか。	